

# 「ヨコハマトリエンナーレ 2014」今夏開幕！

## ～開幕に向けてイベント開催します！～



ヨコハマ  
トリエンナーレ  
2014

8月1日から11月3日まで3年に一度横浜で開催される現代アートの国際展「ヨコハマトリエンナーレ 2014」が、横浜美術館、新港ピアを主会場に開催されます。開幕に向けて年初より様々なイベントを実施し、市民の皆さまや市内のNPOや企業などと連携を図りながら準備を始め、まち全体でヨコハマトリエンナーレ 2014 を盛り上げます。

### ヨコハマトリエンナーレ 2014 開幕前のイベント開催

#### ●ヨコハマトリエンナーレ 2014 開幕 200 日前カウントダウンイベント

「みらいの自分へ『忘却の手紙』を送ろう！」

ヨコハマトリエンナーレ 2014 は「忘却巡り」の旅がコンセプト。

ヨコハマトリエンナーレ 2014 を応援し、一緒に盛り上げる横浜トリエンナーレサポーターが企画。開幕 200 日前に「MARK IS みなとみらい」と「横浜美術館」を巡るスタンプラリーを実施。

参加者には開幕の日に「忘却の海」を超えて自分宛の手紙が届きます！

日 時 1月13日(月・祝) 10:00～17:00 (スタンプラリー用台紙がなくなり次第終了)

会 場 MARK IS みなとみらい、横浜美術館

内 容 参加者は「MARK IS みなとみらい」、「横浜美術館」を巡るスタンプラリー(6か所)を  
実施。すべてのスタンプを押した台紙は、参加者あてのハガキとなり、200日後にお手元に届くこととなります。

開幕後、会場にそのハガキを持参すると関連グッズをもれなくプレゼントします。

抽選で20名の方にヨコハマトリエンナーレ 2014 のチケットが当たります。

参加費 無料(先着200名まで。当日は、直接会場へお越しください。)

#### ●ヨコハマトリエンナーレ 2014 プレイベント

国際シンポジウム「国際展で考える『東アジア地域における文化交流の仕組みづくり』」

世界が注目する2017年に香港に開館予定の「M+美術館」、1995年以来世界に向けて発信を続けるアジアを代表する国際展「光州ビエンナーレ」、シンガポールの新しい現代アートの研究拠点「南洋理工大学現代美術センター(CCA)」の各ディレクターが横浜に集結！

世界のアートシーンをけん引する専門家が文化交流の仕組みづくりの可能性について議論します。

日 時 2月16日(日) 15:00～18:30

会 場 ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3Fスペース

登壇者 ラース・ニッティヴェ (M+美術館エグゼクティブディレクター/香港)

イ・ヨンウ (光州ビエンナーレ財団理事長/韓国・光州)

ウテ・メタ・バウアー (南洋理工大学現代美術センター[CCA]ディレクター/シンガポール)

逢坂 恵理子 (横浜トリエンナーレ組織委員会委員長/横浜美術館長)

参加費 無料

申込方法 事前申込制、1月11日よりヨコハマトリエンナーレ 2014 公式サイトまたは FAX (045-681-7606) にて受付開始

募集人数 定員150名(先着順)

美術の専門家の方はおもとより、美術を勉強する学生の皆さんもふるってご参加ください。

※ 日英同時通訳あり

裏面あり

## 「まちにひろがるトリエンナーレ応援企画」を募集中！

市内の各事業者や市民の皆様と連携し、まち全体での盛り上げを図っていく「まちにひろがるトリエンナーレ」を展開していきます。

### ●応援プログラム

ヨコハマトリエンナーレ2014の会期中に開催される文化芸術拠点やNPO団体等が主催する企画等が対象。

### ●応援グッズ

ヨコハマトリエンナーレ2014の「応援ロゴ」を使用し、独自グッズを開発する事業者が対象。

※募集要項や詳細は、ヨコハマトリエンナーレ2014公式サイトをご覧ください。

<http://www.yokohamatriennale.jp/2014/join/>

### <参考>ヨコハマトリエンナーレ2014開催概要

#### ●展覧会タイトル

ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」

Yokohama Triennale 2014 “ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion”

#### ●会 期 2014年8月1日(金)～11月3日(月・祝)

開場日数：89日間 ※休場日：第1・3木曜日(計6日間)

#### ●開場時間 10:00～18:00

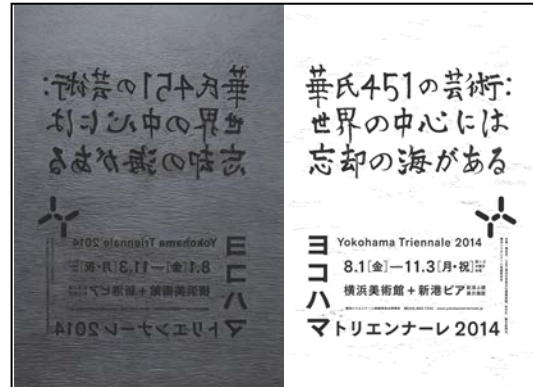
[8月9日(土)、9月13日(土)、10月11日(土)、11月3日(土)は20:00まで開場]

#### ●主会場 横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)

#### ●主 催 横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、 横浜トリエンナーレ組織委員会

#### ●アーティストック・ディレクター 森村 泰昌(もりむら やすまさ)

「ヨコハマトリエンナーレ2014」は、  
「東アジア文化都市2014横浜」の中心的  
な事業として位置づけられています。



<ビジュアルデザイン>

ヨコハマトリエンナーレ2014公式サイト <http://www.yokohamatriennale.jp/2014/>

### お問い合わせ先

文化観光局創造都市推進課 トリエンナーレ担当課長  
横浜トリエンナーレ組織委員会 事務局長

富士田 美枝子 045-671-3426  
帆足 亜紀 045-663-7232



3年に1度、世界の現代アートが横浜に集結!「ヨコハマトリエンナーレ2014」開幕まであと200日! カウントダウンイベント

# みらいの自分に『忘却の手紙』を送ろう!

ヨコハマトリエンナーレ2014は「忘却」がコンセプト。MARK IS みなとみらいと横浜美術館を巡るスタンプラリーに参加すると、200日後ヨコハマトリエンナーレ2014の開幕の日『忘却の海』を超えて、自分に手紙が届く! みらいの自分に『忘却の手紙』を送ってみよう!

**STEP 1**  
Mail via YOKOHAMA TRIENNALE 2014

オシタレー  
オシタレー

スタンプラリーに参加しましょう。

Stamp!

スタンプカード

のには  
のがある

ヨコハマトリエンナーレ2014

**STEP 2**  
Mail via YOKOHAMA TRIENNALE 2014

今年ノ  
抱負デモ  
書イタロカ

みらいの自分に手紙を書きましょう。

Stampカード

のには  
のがある

ヨコハマトリエンナーレ2014

Dot down!

**STEP 4**  
Mail via YOKOHAMA TRIENNALE 2014

1月ノポケット  
コンナコト  
考エテタンダネ

August!

半年前のことなんか忘れてしまった8月、1月のあなたからメッセージが届きます。それはプレゼント当選のお知らせでもあります!

**STEP 3**  
Mail via YOKOHAMA TRIENNALE 2014

ナンカアタル  
ナラ応募シヨ

住所・氏名を書いて当日会場で応募します。

応募箱

Entry!

参加者全員にもれなく『ヨコトリ関連グッズ』をプレゼント! 詳しくは裏面をチェック!

参加無料

2014 1/13 月・祝 10:00~17:00

※スタンプカードが無くなり次第終了

MARK IS みなとみらい+横浜美術館

※チェックポイントはMARK IS みなとみらい1Fグランドギャラリーなど5か所、および横浜美術館グランドギャラリーにございます。

■主催: 横浜トリエンナーレ組織委員会・横浜トリエンナーレサポーター事務局 ■企画: 横浜トリエンナーレサポーター ■共催: 横浜美術館 ■協力: MARK IS みなとみらい  
■問合せ先: 横浜トリエンナーレサポーター事務局 TEL:045-325-8654 / [www.yokotorisup.com](http://www.yokotorisup.com)

3年に1度、世界の現代アートが横浜に集結!  
**「ヨコハマトリエンナーレ2014」**開幕まであと200日!  
 カウントダウンイベント

# 『**みらいの自分に 忘却の手紙**』を送ろう!

イベント日時：2014年1月13日(月・祝) 10:00~17:00

先 着：200名様 ※スタンプカードは無くなり次第配布終了  
 場 所：MARK IS みなとみらい1Fグランドギャラリーなど5か所、  
 および横浜美術館グランドギャラリー


## 参加方法/手順

- 1 チェックポイントでスタンプカードをGETしましょう!
- 2 6か所のチェックポイントを回って展覧会タイトル「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」を完成させましょう!
- 3 完成したら、みらいの自分に手紙を書きましょう!
- 4 スタンプカードに住所・氏名を記入し、1Fグランドギャラリーにて応募しましょう。そして8月、プレゼント当選はがきとしてお手元に届きます!

**個人情報の取り扱いについて**  
 ご記入いただいた住所、ご氏名等の個人情報は、本イベント終了後、横浜トリエンナーレサポーター事務局にて厳重に保管します。ご記入いただいた情報は8月1日のヨコハマトリエンナーレ2014開幕にあわせてはがきを送付する際に使用し、他の用途に供することはありません。

## 参加者全員にもれなく「ヨコトリ関連グッズ」をプレゼント!

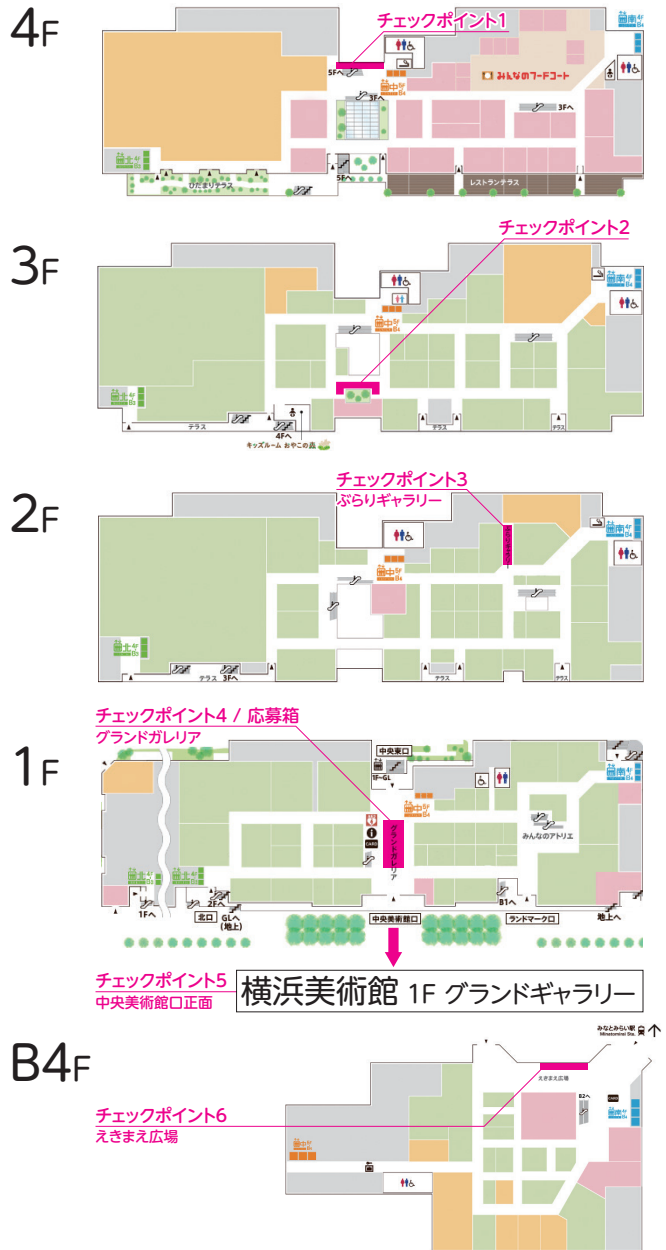
アーティストグッズやサポーターオリジナルグッズなど、ヨコトリ関連グッズを応募者全員にもれなくプレゼント。さらに抽選で20名様にヨコハマトリエンナーレ2014鑑賞チケットが当たります。当選内容と引き換え方法は、「みらいの自分の手紙」に記載の上、お知らせします。お楽しみに!



あなたにとって「芸術」とは?  
 絵  
 だいきき!  
 じかにゴッホ

各チェックポイントにはキーワードに関してみなさんのイメージを気軽に書いてもらう寄せ書きボードも設置。こちらにも思いの丈をぶつけてしまいましょう!

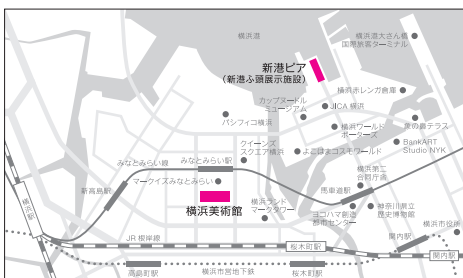
## チェックポイント設置箇所(MARK IS みなとみらい) ※どこからスタートしてもOK!



# 華氏451の芸術: 世界の中心には 忘却の海がある

ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion

## ヨコハマトリエンナーレ 2014



## ヨコハマトリエンナーレ2014とは?

ヨコハマトリエンナーレ2014は、横浜美術館と新港ピア(新港ふ頭展示施設)を主会場に2014年8月から11月まで開催します。本展では、アーティストック・ディレクターに美術家の森村泰昌氏を迎え、「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」\*のタイトルのもと、国や時代を超えた国内外の作家による美術作品を紹介いたします。さまざまな文化を受け入れてきた開港の地、横浜で開催する本展は、私たちが「忘却」してきたものに目を向ける新たな機会となるでしょう。ぜひご期待ください。

\*「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」 本展タイトルの「華氏451の芸術」は、1953年に刊行されたレイ・ブラッドベリ作のSF小説「華氏451度」に由来しています。焚書をテーマにした同書は、本を禁止する社会に対するレジスタンス(抵抗)として、社会の表舞台から身を潜め、本をまるごとすてて記憶する「本になる人々」が登場します。

## ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」

会 期：2014年8月1日[金]—11月3日[月・祝]

休 場 日：第1・3 木曜日

開場時間：10:00—18:00 ※入場は開場の30分前まで

(8/9[土]、9/13[土]、10/11[土]、11/1[土]は、20:00まで開場)

主 会 場：横浜美術館 横浜市西区みなとみらい3-4-1

新港ピア(新港ふ頭展示施設) 横浜市中区新港2-5

主 催：横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

※東アジア文化都市2014横浜特別事業

## お問い合わせ

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内  
 TEL:045-663-7232 [www.yokohamatriennale.jp](http://www.yokohamatriennale.jp)



THINKING TOGETHER

ヨコハマトリエンナーレ2014プレイベント



# 国際展で考える

## 「東アジア地域における 文化交流の仕組みづくり」

2014  
2|16  
SUN

15:00-18:30 (14:30 OPEN)

ヨコハマ創造都市センター 3Fスペース 

使用言語：日英バイリンガル(日英同時通訳あり)

参加費：無料(事前申込制、定員150名)

登壇者

ラース・ニッティヴェ M+美術館エグゼクティブディレクター(香港)

イ・ヨンウ(李龍雨) 光州ビエンナーレ財団理事長(韓国)

ウテ・メタ・バウアー 南洋理工大学現代美術センター(CCA)ディレクター(シンガポール)

逢坂恵理子 横浜美術館館長/横浜トリエンナーレ組織委員会委員長

コーディネーター：帆足亜紀 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長

国際展、美術館、アートセンター、アートフェアと現代美術の  
アートシーンが形成されつつあるアジア。21世紀に入ってから  
現代美術や文化活動全般に大きな資本や多くの資源が投じら  
れるようになり、今や、開拓・成長の段階から持続・成熟に向  
けて新たな局面を迎えたようにも見えます。しかし、その成果  
や評価は都市や国単位で語られるものの、アジアという地域  
単位ではまだ議論が十分に尽くされていません。人材が育成  
され、知識が蓄積され、ネットワークが形成されつつあるこの  
地域の現代美術にかかわる社会的資本をどう未来につなげ、  
活用していくのか。

横浜トリエンナーレでは、香港、光州、シンガポールを拠点に  
新しい試みに挑戦する専門家3名を迎え、それぞれの活動が  
どのようにアジアという地域に貢献しうるのがかを共に考えます。  
そして、都市間交流にとどまらない、東アジアという地域を基盤  
とした文化交流の仕組みづくりの可能性について議論します。

主催：横浜トリエンナーレ組織委員会

共催：ヨコハマ創造都市センター

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

助成：公益信託タカシマヤ文化基金

協力：国際舞台芸術ミーティング in 横浜2014実行委員会  
学習院女子大学

東アジア文化都市 2014 横浜特別事業



東アジア文化都市  
2014 横浜  
Culture City of East Asia  
2014, YOKOHAMA



## プログラム概要

### 15:00-15:45 基調講演

ラース・ニッティヴェ  
M+ 美術館エグゼクティブディレクター (香港)



### ラース・ニッティヴェ

M+ 美術館エグゼクティブディレクター (香港)  
Dr. Lars Nittve, Executive Director Museum Plus (M+) of the West Kowloon Cultural District Authority, Hong Kong  
スウェーデン・ストックホルム生まれ。ストックホルム大学 (経済学修士号)、ニューヨーク大学 (大学院修了) で学んだ後、1978 年よりストックホルム大学にて美術史の教鞭を執る傍ら、美術批評家として活躍。ストックホルム近代美術館チーフキュレーター着任 (1986年) を皮切りにマルメのルーセウム現代アートセンター初代館長、デンマークのルイジアナ近代美術館館長、英国のテート・モダン初代館長、ストックホルム近代美術館の館長を歴任。著書、受賞多数。美術関係団体・組織の委員の経験も豊富。2013年に『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』誌の「世界を変えた50人」に選ばれる。2011年1月より西九文化区管理局 (香港) へ参画にて、現職。2017年の開館に向けて準備中である。

### 15:50-16:10 ケーススタディ①

「光州ビエンナーレの試み」  
イ・ヨンウ (李龍雨)  
光州ビエンナーレ財団理事長 (韓国)



### イ・ヨンウ (李龍雨)

光州ビエンナーレ財団理事長 (韓国)  
Dr. Lee Yongwoo, President, Gwangju Biennale Foundation  
韓国・ソウル生まれ。著述家、キュレーター、美術史家。オックスフォード大学にて博士号を取得。高麗大学校教授 (批評と視覚文化)、センター・フォー・ニュー・メディア・アート事務局長を歴任。1995年に創設された光州ビエンナーレの初代ディレクター。同ビエンナーレのアーティスティック・ディレクター着任後 (2004年)、2008年より現職。『Mass, The Culture Creator』、『Information and Reality』、『The Origins of Video Art』、『Nam June Paik』など鑑賞、ニューメディアに関する著書多数。

### 16:10-16:30 ケーススタディ②

「シンガポールの試み」  
ウテ・メタ・パウアー  
南洋理工大学現代美術センター (CCA) ディレクター (シンガポール)



### ウテ・メタ・パウアー

南洋理工大学現代美術センター (CCA) ディレクター (シンガポール)  
Professor Ute Meta Bauer, Founding Director of the Center of Contemporary Art (CCA) Singapore  
ドイツ生まれ。分野横断的な視点で現代アート、映像、ビデオ、サウンドなどの展覧会を数多く手がける。ドクメンタ11のコ・キュレーター (2001-02年)、第3回ベルリン・ビエンナーレのアーティスティック・ディレクター (2004年)、新ベルリン美術協会 (n.b.k.) の「The Future Archive (未来のアーカイブ)」展 (2012年) のキュレーター、第1回ワールド・ビエンナーレ・フォーラム (2012年) のコ・ディレクター。マサチューセッツ工科大学 (MIT) 准教授、MITヴィジュアル・アーツ・プログラムのディレクター (2005-09年)、建築・都市計画学部のアート・文化・テクノロジー・プログラム (ACT) 初代ディレクター (2009-12年)、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの美術学部長 (2012-13年)、ノルウェー現代美術センター (OCA) の初代ディレクター (2002-05年) を歴任。美術関係組織・団体のアドバイザーや委員の経験も豊富。『World Biennale Forum No 1 - Shifting Gravity』、『AR - Artistic Research』 (ともに2013年、共編) など著書多数。2013年より現職。同大学美術・メディア・デザイン大学院教授も務める。

### 16:30-16:40 ケーススタディ③

「横浜トリエンナーレの現在とこれから」  
逢坂恵理子  
横浜美術館館長 / 横浜トリエンナーレ組織委員会委員長



### 逢坂恵理子

横浜美術館館長 / 横浜トリエンナーレ組織委員会委員長  
Osaka Eriko, Director, Yokohama Museum of Art  
Chairperson, Organizing Committee for Yokohama Triennale  
東京都生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業。専攻芸術学。国際交流基金、ICA名古屋を経て、1994年より水戸芸術館現代美術センター主任学芸員、1997年より2006年まで同センター芸術監督。2007年より2009年1月まで森美術館アーティスティック・ディレクター。2009年4月より横浜美術館館長に就任。また、1999年第3回アジア・パシフィック・トリエンナーレで日本部門コ・キュレーター、2001年第49回ヴェニス・ビエンナーレで日本館コミッショナー、ヨコハマトリエンナーレ2011総合ディレクターなど、多くの現代美術国際展をてがける。

### 16:55-17:55 パネルディスカッション 「都市間交流から文化交流プラットフォームづくりへ」

コーディネーター：帆足亜紀  
横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長

### 17:55-18:30 質疑応答

## 舞台芸術AIRミーティング@TPAM 2014

2月16日 (日) 10:00~ヨコハマ創造都市センター (YCC)  
3Fで開催。詳細はウェブサイト等で発表いたします。  
[www.tpam.or.jp](http://www.tpam.or.jp)

## 会場へのアクセス

ヨコハマ創造都市センター (YCC) 横浜市中区本町6-50-1

- みなとみらい線「馬車道駅」  
1b出口 [野毛・桜木町口 (アイランドタワー連絡口)]
  - JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分
  - JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩7分
- 当施設には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。



## 申込み方法

2014年1月11日より横浜トリエンナーレ公式WEBサイトのイベント情報ページ <https://www.yokohamatriennale.jp/news/> よりお申込みください。または、件名に「2/16 シンポジウム申込み」と記載し、①氏名 ②所属 ③住所 ④電話番号を明記の上、事前にFAX (045-681-7606) でお申込みください。

締切：2014年2月13日 (木)

お問い合わせ先：横浜トリエンナーレ組織委員会事務局  
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内  
TEL 045-663-7232 (平日10:00-18:00) FAX 045-681-7606 E-MAIL [info@yokohamatriennale.jp](mailto:info@yokohamatriennale.jp)  
[www.yokohamatriennale.jp/](http://www.yokohamatriennale.jp/)